

令和元年度 第1回 東播臨海広域ごみ処理連絡会議

会 議 録

1 開会及び閉会の年月日時並びに場所

開会：令和元年7月8日（月）午前10時00分

閉会：令和元年7月8日（月）午前11時15分

場所：高砂市役所 南庁舎5階 大会議室

2 会議に出席した者の職及び氏名

会長（議長） 高砂市長 登 幸 人

委員 加古川市長 岡 田 康 裕

委員 稲美町長 古 谷 博

委員 播磨町長 清 水 ひろ子

3 議事

- (1) 平成30年度 広域ごみ処理事業について
- (2) 令和元年度 広域ごみ処理事業について
- (3) その他

4 議事の経過及び確認事項

- 平成30年度 第2回 東播臨海広域ごみ処理連絡会議（平成31年2月8日（金）開催）会議録を確定。
 - (1) 平成30年度 広域ごみ処理事業について
 - 事務局から議事（1）について説明。
 - ・平成30年度広域ごみ処理事業について説明。
 - ・平成30年度広域ごみ処理事業特別会計歳入歳出決算額について説明。
 - ・平成30年度広域ごみ処理事業に係る2市2町の負担額について説明。
 - 議事（1）について確認した。
 - (2) 令和元年度 広域ごみ処理事業について
 - 事務局から議事（2）について説明。
 - ・令和元年度広域ごみ処理事業について説明。
 - ・令和元年度広域ごみ処理事業特別会計予算について説明。
 - ・広域ごみ処理施設建設工事通信について説明。
 - ・広域ごみ処理施設建設工事進捗予定表について説明。
 - 議事（2）について確認した。
 - (3) その他
 - 事務局から議事（3）について説明。
 - ・広域ごみ処理施設建設に係る周辺整備事業実績及び計画について説明。
 - ・ごみ量の推移について説明。
 - 議事（3）について確認した。

- 広域ごみ処理施設周辺整備事業について
 - ・ 加古川市長
広域ごみ処理施設周辺整備については、上限の範囲内で納まりそうか。
 - ・ 事務局
高須自治会及び伊保漁業協同組合とは令和元年7月現在協議中であり不確定の部分もあるが、納まると考えている。
 - ・ 高砂市長
広域ごみ処理施設周辺整備に係る協議について、スピードを上げて取り組んでもらいたい。

- ごみ量の推移及び指定ごみ袋制度導入について
 - ・ 高砂市長
資料中の「ごみ量の推移について」を見ると、平成30年度の高砂市の可燃ごみ量及び不燃・粗大ごみ量は、いずれも平成29年度から増加している。この要因は何か。
 - ・ 事務局
平成29年度から剪定枝の資源化を実施しており、平成29年度の高砂市の可燃ごみ量は、平成28年度から大幅に減少した。平成30年度も継続して剪定枝の資源化を実施しているが、可燃ごみ量はほぼ横ばい傾向である。
不燃・粗大ごみについては、平成29年度から加古川市にごみ処理の委託を開始した。平成29年度に出し控えされていた不燃・粗大ごみが、平成30年度に出されたことが要因として推測される。
 - ・ 高砂市長
平成30年度の高砂市のごみ量は令和4年度計画値を満たしているが、今後もごみ減量に取り組んでもらいたい。
 - ・ 加古川市長
平成30年度の高砂市のごみ量は、平成25年度ごみ量比2割削減を達成したが、1人当たりのごみ排出量は全国平均値を上回っている。将来を見据えさらなる施策を行い、全国平均値を下回れるよう進めていきたい。
加古川市では「指定ごみ袋制度」導入を検討している。
 - ・ 高砂市長
指定ごみ袋制度導入はいつからか。
 - ・ 加古川市長
早ければ令和3年から実施する予定である。
加古川市では市民との「まちづくりオープンミーティング」で指定ごみ袋制度導入を検討していることを伝えており、自治会等への相談を始める予定である。

市議会からは導入に対し前向きな感触を得ている。

指定ごみ袋制度はごみ処理の有料化と違い、ごみ袋のデザインを指定し、それが印刷されたものを業者が販売するもので、市の歳入が増えるものではない。

デザインを指定する分、1枚当たりの単価は高くなり、姫路市では、ごみ袋1枚当たり10円程度と聞いている。値段が高くなることから、ごみ減量化に寄与すると考えている。

・高砂市長

平成30年度の稲美町の可燃ごみ量は、令和4年度計画値を上回っているが、どのように捉えているか。

・稲美町長

ごみ減量は住民の責務であると考えます。

稲美町の単独事業であるならばごみ量が増えても仕方ないと考えますが、2市2町で行うからには目標を達成していかなければならない。

有料化について言及した際には一時的に減少したが、その意識も薄れている。

生ごみの水切りの周知やごみステーションののぼり旗等、ごみ減量の啓発を行っているが、限界も感じている。稲美町議会において、ごみ処理の有料化を視野に入れる旨発言したが、反論はなかった。そうならないように住民の努力、協力を求めたい。

・高砂市長

播磨町は、ごみ減量施策についてどのように考えているか。

・播磨町長

播磨町ではごみの出し方については従来どおりである。

・稲美町長

播磨町と同様に、稲美町では指定ごみ袋制度導入及びごみ処理の有料化をしない方向で考えている。

・高砂市長

平成30年度の2市2町合計の可燃ごみ量及び不燃・粗大ごみ量は、令和4年度計画値以下であり目標を達成できているが、今後、ごみ減量について2市2町で協力出来ることがあれば行っていきたい。

5 その他連絡事項

- 事務局から、令和元年度第2回東播臨海広域ごみ処理連絡会議を、令和2年2月に開催する予定であることを連絡した。

(傍聴者1名)

以上